ユース世代との意見交換会



９月10日（木）、ユース世代である高校生と県議会広報委員との意見交換会を行いました。

今回は、楊志館高等学校ボランティア部から４名、大分東明高等学校社会部から４名、計８名の高校生が参加し、県議会の仕組みや役割について学んだあと、議場で一般質問を傍聴しました。

広報委員にそれぞれの部の活動内容を紹介した後、２つのグループに分かれ、「自分が知事だったらやりたいこと」をテーマに、意見交換を行いました。



高校生の 自分が知事だったらやりたいこと

- 大分県の農業をブランド化したい
- 気軽に利用できる学習スペースを増やしたい
- ドイツのユースセンターを参考に、意欲のある若者に対して社会参画の機会を提供したい
- 大分視覚障がい者ウェルカム認証制度を作りたい





終了後の感想

- 議員の方々が、県民のことを真剣に考えていると知って嬉しかった
- 身近なことについて話をされていて興味深かった
- 普段知らない、地域の出来事をきちんと知ることができた
- 政治について全く知識がなかったが、今回の経験で興味がわいた
- 選挙権を得たら必ず選挙に参加しようと思った





活動紹介



意見交換

議員出前講座

県議会では、県民の皆さんにとって身近でわかりやすい県議会を実現するため、議員が学校や大学等に出向き、県政の動きや議会の役割について伝え、質問に答える「議員出前講座」を実施しています。

１０月には２校で実施し、参加した生徒・学生から、「議員になろうと思ったきっかけは？」や、「議員活動をやっていてよかったことは？」などの質問が出され、活発なやりとりが行われました。







豊後高田市立高田中学校
10月16日







大分県立芸術文化短期大学
10月27日